

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	1	
事業名	社会教育諸経費	会計	款	項	目
		一般	10	5	1
政策	6 人生を豊かにするために	課名	社会教育課		
施策	6-2 青少年の健全育成	係名	生涯学習係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内の青少年	目的 (対象がどのような状態になっているか)	青少年育成町民会議の活動を通じ、青少年の非行を防止し健全育成を図る。
事業内容	青少年の健全育成を図るため、町青少年育成町民会議を主体として、学校、家庭、地域などが一体となって取り組む体制を確立し、青少年のまちづくり活動等への参画促進や地域全体での育成支援を推進する。 ・青少年育成町民会議の主な活動 町内啓発活動、夜間パトロール、町民歩け歩こう大会、子育てのつどい、青少年の主張、指導員の研修、校区活動			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
指標	1	体験学習活動平均参加率	8.9			%		15
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B				3,830	5,479		6,246	
財源内訳	直接事業費 A			2,840	4,141		4,644	
	うち一般財源			2,840	4,141		4,644	
人件費 (千円) B				990	1,338		1,602	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.15	990	0.20	1320	0.24	1584
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0.01	18	0.01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	C対象が広すぎる
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	Ⅲ 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	青少年の健全育成を図るため、時代や生活環境、地域のニーズと特色を活かした活動、取り組みを推進する。	③取組の課題	従来の事業を検証しつつ、地域と時代に即した新たな取り組みへの転換を図るため、「求められているもの」を把握する必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大半の事業が中止となる中、ヴィアティンフェスティバルや東員ミュージカルで、あいさつ運動のチラシを配布し、啓発活動が実施できた。また、次年度からの組織形態と事業など取り組み(活動)を見直すための指導員会議を3回開催した。	④今後の改善計画	各地域の推進指導員を中心に、従来の事業を検証し、効率的・効果的な組織形態と具体的な取り組みを協議検討する。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	17-	2
事業名	成人式経費	
会計	款	項
一般	10	5
課名	社会教育課	
係名	生涯学習係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	当該年度に20歳を迎える町民及び一時転出者等。	目的 (対象がどのような状態になっているか)	成人として社会の仲間入りを自覚する機会を提供し、東員町への郷土愛を高め、若者の定住を促す。
事業内容	新成人で組織する成人式実行委員会を主体として、企画・運営を行う。 ・第1部 町長・来賓・恩師の祝辞、新成人誓いのことば ・第2部 アトラクション(令和3年度：中止) ※民法の一部改正により成人年齢引き下げに伴う式典名変更。 令和5年1月から「二十歳を祝う会」とする。 ※令和4年度から「社会教育諸経費」へ統合する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)	
	1	二十歳を祝う会に参加した人数の割合	80				%		80
2									
3									
4									
5									
			令和2年度(決算)		令和3年度(決算)		令和4年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B			2,613		3,019				
財源内訳	直接事業費 A		417		559				
	うち一般財源		417		559				
人件費(千円) B			2,196		2,460				
内訳	一般職員(人・千円)		0.33	2178	0.37	2442	0	0	
	臨時職員(人・千円)		0.01	18	0.01	18	0	0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	前年度踏襲ではなく、新たな企画・運営となるよう助言と支援を行う。	③取組の課題	恒常的にならないよう事業内容の創意工夫に努める必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	換気や時間短縮など新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を十分に講じ、新成人で組織する実行委員会とともに開催した。前年度実施しなかった集合写真を再開した。	④今後の改善計画	令和4年度から「社会教育諸経費」へ統合する。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	17-	3
事業名	文化振興諸経費	
会計	款	項
一般	10	5
目	2	
課名	社会教育課	
係名	生涯学習係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	文化団体（文化協会他）	目的（対象がどのような状態になっているか）	文化団体の自主・自立を促し育成することで、東員町の文化振興を推進する。
事業内容	町が委託する公民館講座をはじめとする、各種文化振興に関する事業を実施する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	文化に関する登録指導者数	34			人		50
2								
3								
4								
5								
			令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B				9,834	9,275		9,583	
財源内訳	直接事業費A			6,798	6,239		6,331	
	うち一般財源			6,762	6,199		6,271	
人件費（千円）B				3,036	3,036		3,252	
内訳	一般職員（人・千円）		0.46	3036	0.46	3036	0.49	3234
	臨時職員（人・千円）		0	0		0	0.01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	C民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	B対象が狭すぎる
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	III 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	「公民館講座」を受講し易いように回数を減らすなど、新規受講者の懸け橋となるように取り組む。	③取組の課題	様々な講師の人材育成・確保及び幅広い年齢層に参加していただけるよう開催日（土・日）や時間帯等を見直す必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	・新規受講者を増やすため、お試し講座として「単発講座(1day)」を16講座取り入れたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。 ・QRコードを用いた申込方法により、気軽に応募ができるようになった。（ハガキでの申し込みも継続）	④今後の改善計画	時代のニーズに合った講座の開設と講師の確保に努め、併せて開催日時やスタイル（リモート等）など新たな企画・運営に取り組む。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	17-	4
事業名	総合文化センター維持管理経費	
会計	款	項
一般	10	5
目		2
課名	社会教育課	
係名	生涯学習係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	町民が安心して施設を利用でき、また、利用者のニーズに応じた運用を検討するなどして施設の有効活用を図る。
事業内容	文化会館における各種活動発表、中央公民館での作品展示会やクラブ・サークル活動等その他公共的な利用のために施設を提供し、総合文化センターの維持管理を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	公民館・文化会館利用者数	34,580			人		50,000
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B				37,666	43,836		39,280	
財源内訳	直接事業費A			34,732	40,968		36,412	
	うち一般財源			17,395	36,074		31,574	
人件費（千円）B				2,934	2,868		2,868	
内訳	一般職員（人・千円）		0.39	2574	0.38	2508	0.38	2508
	臨時職員（人・千円）		0.20	360	0.20	360	0.20	360

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	B対象が狭すぎる
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	長期保全計画等に基づき、計画的に改修を行い、施設利用者が安全安心に利用できるよう適切な施設の維持管理に努める。	③取組の課題	施設の老朽化の状況によって、長期保全計画の見直しを適宜行う必要があるが、改修等内容によっては財源確保が困難となるケースが想定される。
②R3年度に実施した取り組み	総合文化センターに係る非常用発電機更新工事及び空調設備盤改修工事を行った。	④今後の改善計画	施設設備に係る保守点検により、劣化等改修時期を見極め、長期保全計画に基づき計画的に改修工事を行い、施設の適正な維持管理に努める。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	17-	5
事業名	文化事業イベント経費	
会計	一般	
款	10	
項	5	
目		2
課名	社会教育課	
係名	生涯学習係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	様々な文化事業を行い、町民が文化に触れる機会を提供する。
事業内容	こども歌舞伎公演、東員「日本の第九」演奏会、音楽祭、ミュージカルの参加型の文化事業を開催することで、町民にさまざまな文化に触れる機会を提供する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1	文化祭出点数	330			点		450	
2	文化イベント来場者数	908			人		3000		
3									
4									
5									
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			16,555		17,280		31,914		
財源内訳	直接事業費 A		13,969		14,232		27,084		
	うち一般財源		11,821		11,999		20,164		
人件費 (千円) B			2,586		3,048		4,830		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.31	2046	0.38	2508	0.65	4290	
	臨時職員 (人・千円)		0.30	540	0.30	540	0.30	540	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	町の伝統文化や古典芸術等の魅力を幅広い年齢層に情報発信し、身近に触れあえる機会を提供する。	③取組の課題	文化事業や古典芸能の魅力を幅広い年齢層に情報発信し、町のPRを町内外に広める必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	「こども歌舞伎公演」・「日本の第九演奏会」・「音楽祭」は中止、「東員ミュージカル」は感染防止対策を十分に講じて行った。	④今後の改善計画	文化芸術基本条例を策定するため若者を含めた委員会を立ち上げ、町の実情に応じた条例策定に取り組み、文化芸術活動の発展に繋げるとともに、町内外へ情報発信する。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	17-	6
事業名	公民館諸事業経費	
会計	款	項
一般	10	5
目		3
政策	6 人生を豊かにするために	
課名	社会教育課	
施策	6-1 生涯学習の推進	
係名	生涯学習係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	地域の学習拠点、家庭教育支援拠点として利用者のニーズに応じた運用を検討するなど施設の有効利用、利便性を図る。
事業内容	中央公民館での作品展示やクラブ・サークル活動の充実、また、生涯学習の企画運営に参画するコーディネーター（指導者含む）を募集し、人材の発掘と育成を図るとともに、若者から高齢者までを対象とした学習機会の拡充に努める。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	公民館・文化会館利用者数	34,580			人		50,000
2	生涯学習関連の講座・教室の参加者数	249			人		280	
3								
4								
5								
			令和2年度（決算）		令和3年度（決算）	令和4年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B			6,257		6,837	7,420		
財源内訳	直接事業費A		3,275		3,591	3,712		
	うち一般財源		3,275		3,591	3,712		
人件費（千円）B			2,982		3,246	3,708		
内訳	一般職員（人・千円）		0.37	2442	0.41	2706	0.48	3168
	臨時職員（人・千円）		0.30	540	0.30	540	0.30	540

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	B対象が狭すぎる
				コストの削減	B削減の余地がややある	
総合評価	Ⅲ 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	公民館講座を修了した受講者が、継続して活動できるようクラブやサークル団体に協力要請し、学習機会の提供を図る。	③取組の課題	利用者数の伸び悩みが顕著である。
②R3年度に実施した取り組み	公民館講座を受託する（一社）東員町文化協会が、受講修了後に継続して活動ができるよう協同して施設利用を図った。	④今後の改善計画	公民館施設の利用向上につながる生涯学習の取り組みなど調査研究を行うと同時に、公民館講座修了者に対しても文化協会と協同し施設利用を図る。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	17-	7
事業名	笹尾コミュニティーセンター経費	
会計	款	項
一般	10	5
目		3
政策	6 人生を豊かにするために	課名
		社会教育課
施策	6-1 生涯学習の推進	係名
		生涯学習係

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	中央公民館の分館として地域住民の芸術、文化及び社会教育の向上を図り、併せて社会福祉の増進に寄与する。
事業内容	中央公民館の分館として、地域住民のクラブ・サークル活動や地元自治会等のコミュニティ活動などに施設を提供する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	笹尾コミュニティーセンター利用者数	13,880			人		19,000
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度（決算）		令和3年度（決算）		令和4年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			20,627		30,673		12,450	
財源内訳	直接事業費A		15,395		25,441		7,218	
	うち一般財源		4,800		16,285		5,111	
人件費（千円）B			5,232		5,232		5,232	
内訳	一般職員（人・千円）		0.25	1650	0.25	1,650	0.25	1,650
	臨時職員（人・千円）		1.99	3582	1.99	3,582	1.99	3,582

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	長期保全計画等に基づき、施設利用者が安全安心に利用できるよう適切な施設の維持管理に努める。	③取組の課題	施設の老朽化の状況によって、長期保全計画の見直しを適宜行う必要があるが、改修等内容によっては財源確保が困難となるケースが想定される。
②R3年度に実施した取り組み	空調改修・LED化工事を行った。	④今後の改善計画	施設設備に係る保守点検により、劣化等改修時期を見極め、長期保全計画に基づき計画的に改修工事を行い、施設の適正な維持管理に努める。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	17-	8
事業名	図書館経費	
会計	一般	
款	10	
項	5	
目		4
政策	6 人生を豊かにするために	課名 社会教育課
施策	6-1 生涯学習の推進	係名 生涯学習係

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象 町民（図書館利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	図書館を中心として町民が様々な学習のできる場を提供する。
事業内容	必要な資料（図書、雑誌、AV資料等）の収集、整理、保存を行うことを基軸として、閲覧サービス、貸出・予約サービス、リクエストサービス、他館との資料相互貸借を行うほか、レファレンスサービス（調べ物のお手伝い）、複写サービス等を行う。不用図書等については年1回「リサイクル会」を開催し有効活用を図っている。 また、子ども読書活動を推進するため毎月2回（第2・第4土曜日）ボランティア団体による「読み聞かせ会」を開催している。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）		
	1	図書館入館者数	75,034			人	↑	96,000	
2	図書貸出冊数	184,790			冊	→	182,000		
3									
4									
5									
		令和2年度（決算）		令和3年度（決算）		令和4年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B				29,342	30,288	29,914			
財源内訳	直接事業費A				10,196	11,142	11,428		
	うち一般財源				10,140		11,372		
人件費（千円）B				19,146	19,146	18,486			
内訳	一般職員（人・千円）		1.81	11946	1.81	11,946	1.71	11,286	
	臨時職員（人・千円）		4.00	7200	4.00	7,200	4.00	7,200	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	III 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	16歳から21歳までの年齢層を重点に置き、読書習慣や自ら学ぼうとする意欲向上を図るとともに、幅広い年齢層が利用し易い環境整備を行う。	③取組の課題	若者（16～21歳）の読書習慣と学習意欲の向上を図るための取り組みを行う必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえ、通常に近い状況での開館に努めた。また、リサイクル会や人形劇は、事前に整理券を配布し、人数制限を設けて開催しました。	④今後の改善計画	若者（16～21歳）に重点を置き、社会情勢の変化、利用者のニーズを把握して、図書館サービスの充実を図る。

事務事業No.	17-	9
会計	款	項
一般	10	5
課名	社会教育課	
係名	生涯学習係	

事業名	文化財保護経費
政策	6 人生を豊かにするために
施策	6-3 文化力の向上

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内の文化財	目的 (対象がどのような状態になっているか)	重要な文化財の保存と活用を図り、今後の世代へ継承する。
事業内容	町内の文化財の調査・指定及び保護を行うとともに、町内の文化財保護団体に対して補助金の交付を行うことによって存続と継承を支援する。郷土資料館において町内の郷土資料の収集・保存・展示を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
		令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B				2,566	3,404	8,844	
財源内訳	直接事業費 A			1,246	1,886	1,584	
	うち一般財源			1,246	1,886	1,584	
人件費 (千円) B				1,320	1,518	7,260	
内訳	一般職員 (人・千円)	0.20	1320	0.23	1518	1.10	7,260
	臨時職員 (人・千円)	0	0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	・町天然記念物を後世に伝え、残すため、後継木の適正な生育管理に取り組む。 ・郷土資料館は、展示品の使い方を体験できる方法を研究し、魅力ある資料館を目指す。	③取組の課題	トウインヤエヤマザクラをはじめ、観音もみじなど単体での指定であり、近年の環境の変化が危惧される。また、郷土資料館の来館者増加の伸び悩みが顕著である。
②R3年度に実施した取り組み	・樹木医への委託・管理の下で天然記念物の維持を図った。 天然記念物トウインヤエヤマザクラ第1号 (後継樹) が枯れたため、指定を解除した。	④今後の改善計画	急激な環境の変化による樹勢の衰えの把握に努める。また、伝統文化行事の後継者の人材育成の支援、郷土資料館にあっては引き続き周知に努める。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	10	
事業名	体育振興経費	会計 一般	款 10	項 6	目 2
政策	6 人生を豊かにするために	課名	社会教育課		
施策	6-4 スポーツの振興	係名	スポーツ振興係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	町民にスポーツの場を提供し、またスポーツを通じた地域のコミュニケーションの輪を広げ、住民にとっての明るく健康的なまちづくりを行う。
事業内容	誰もが気軽に参加できる、地域住民による自主的・主体的なスポーツ行事の企画・運営（スポーツ教室及び対抗戦等スポーツイベントの開催、広報活動による啓発・周知、指導者の確保・育成）の基盤づくりを支援する。また、町民体育祭や駅伝大会の開催について、検証・協議、見直し、参加しやすい、または参加しなくなる大会となるよう努める。また、各施設の保守点検等による修繕を適正に行うよう努める。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
指標	1 スポーツ教室などの教室数	41			教室		40	
	2 スポーツに関する登録指導者数	16			人		20	
	3							
	4							
	5							
		令和2年度（決算）		令和3年度（決算）		令和4年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B		24,262		20,826		24,452		
財源 内訳	直接事業費A	21,190		17,160		20,852		
	うち一般財源	20,209		16,091		19,492		
人件費（千円）B		3,072		3,666		3,600		
内訳	一般職員（人・千円）	0.43	2838	0.52	3432	0.51	3366	
	臨時職員（人・千円）	0.13	234	0.13	234	0.13	234	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	誰もが気軽に参加できる大会をスポーツ協会等と検討する。	③取組の課題	子どもから高齢者まで気軽に参加できる競技や催しのニーズの把握と取り組み方法。
②R3年度に実施した取り組み	町民体育祭に代わる事業として、誰もがスポーツに親しめる事業として「とういんスポーツフェスタ」を企画し開催に向けて準備したが、天候不良により中止となった。	④今後の改善計画	スポーツ協会とヴィアティン三重との連携による集客方法の検討や、より良いスポーツイベントの企画及び実施を行う。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	11	
事業名	総合体育館・武道館経費	会計	款	項	目
政策	6 人生を豊かにするために	一般	10	6	2
施策	6-4 スポーツの振興	課名	社会教育課		
		係名	スポーツ振興係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民・使用者（団体）	目的（対象がどのような状態になっているか）	スポーツを通じたコミュニティ広場としての位置付けを行い、住民等の体力や健康の増進を目指す。
事業内容	住民が利用しやすいよう、施設の適切な維持管理と利用啓発に努めるとともに、施設管理上、過度な負荷のかからないことを前提に、幅広い競技について使用を呼びかけ運用していきたい。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	体育施設利用者数	39,486			人		245,000
2								
3								
4								
5								
			令和2年度（決算）		令和3年度（決算）		令和4年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			7,964		8,064		9,509	
財源内訳	直接事業費A		6,956		6,924		8,237	
	うち一般財源		1,798		256		0	
人件費（千円）B			1,008		1,140		1,272	
内訳	一般職員（人・千円）		0.15	990	0.17	1122	0.19	1254
	臨時職員（人・千円）		0.01	18	0.01	18	0.01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	適正な施設の維持管理に努めながら、施設利用者が安全安心に利用できるよう保守点検を行い、維持管理に努める。	③取組の課題	施設の老朽化により修繕箇所が増加しており、維持管理経費が増加している。
②R3年度に実施した取り組み	総合体育館及び武道館の維持管理及び保守点検等を実施し、施設利用者が安全に利用できるよう努めた。	④今後の改善計画	保守点検等による施設の不具合の早期発見を行い、施設改修計画に適宜盛り込む。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	12	
事業名	陸上競技場経費	会計	款	項	目
		一般	10	6	2
政策	6 人生を豊かにするために	課名	社会教育課		
施策	6-4 スポーツの振興	係名	スポーツ振興係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民・使用者（団体）	目的（対象がどのような状態になっているか）	スポーツを通じたコミュニティ広場としての位置付けを行い、住民等の体力や健康の増進を目指す。
事業内容	住民が利用しやすいよう、施設の計画的整備と利用啓発に努めるとともに、施設管理上、過度な負荷のかからないことを前提に、幅広い競技について使用を呼びかけ運用していきたい。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	体育施設利用者数	34,733			人		245,000
2								
3								
4								
5								
			令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B				6,603	6,734		6,734	
財源内訳	直接事業費A			5,595	5,660		5,660	
	うち一般財源			5,558	5,660		5,660	
人件費（千円）B				1,008	1,074		1,074	
内訳	一般職員（人・千円）		0.15	990	0.16	1056	0.16	1056
	臨時職員（人・千円）		0.01	18	0.01	18	0.01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	C民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
				コストの削減	B削減の余地がややある	
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	陸上競技場の利用促進及び管理について指定管理者への助言と支援を行う。	③取組の課題	施設の老朽化により修繕箇所が増加しており、維持管理経費が増加している。
②R3年度に実施した取り組み	指定管理に係る基本協定書に基づき、指定管理者が施設の管理運営及び維持管理を行った。	④今後の改善計画	保守点検等による施設の不具合の早期発見を行い、施設改修計画に適宜盛り込む。

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	13	
事業名	中央球場・テニスコート経費	会計	款	項	目
政策	6 人生を豊かにするために	一般	10	6	2
施策	6-4 スポーツの振興	課名	社会教育課		
		係名	スポーツ振興係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民・使用者（団体）	目的（対象がどのような状態になっているか）	スポーツを通じたコミュニティ広場としての位置付けを行い、住民等の体力や健康の増進を目指す。
事業内容	住民が利用しやすいよう、利用啓発に努めるとともに、施設管理上、過度な負荷のかからないことを前提に、幅広い競技について使用を呼びかけ運用していきたい。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	体育施設利用者数	3,758			人		245,000
2								
3								
4								
5								
			令和2年度（決算）		令和3年度（決算）		令和4年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			7,280		8,288		9,735	
財源内訳	直接事業費A		6,338		7,808		9,255	
	うち一般財源		5,549		6,991		8,352	
人件費（千円）B			942		480		480	
内訳	一般職員（人・千円）		0.14	924	0.07	462	0.07	462
	臨時職員（人・千円）		0.01	18	0.01	18	0.01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	施設の保守点検を行い維持管理を適切に実施する。	③取組の課題	施設の老朽化により修繕箇所が増加しており、維持管理経費が増加している。
②R3年度に実施した取り組み	中央球場及び中央テニスコートの維持管理及び保守点検等を実施し、施設利用者が安全に利用できるよう努めた。	④今後の改善計画	保守点検等による施設の不具合の早期発見を行い、施設改修計画に適宜盛り込む。東員町公共施設等総合管理計画との整合を図る。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	14	
事業名	城山球場・テニスコート経費	会計	款	項	目
政策	6 人生を豊かにするために	一般	10	6	2
施策	6-4 スポーツの振興	課名	社会教育課		
		係名	スポーツ振興係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民・使用者（団体）	目的（対象がどのような状態になっているか）	スポーツを通じたコミュニティ広場としての位置付けを行い、住民等の体力や健康の増進を目指す。
事業内容	住民が利用しやすいよう、利用啓発に努めるとともに、施設管理上、過度な負荷のかからないことを前提に、幅広い競技について使用を呼びかけ運用していきたい。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	体育施設利用者数	15,236			人		245,000
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度（決算）		令和3年度（決算）	令和4年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B			6,236		6,330	7,222		
財源内訳	直接事業費A		5,294		5,850	6,742		
	うち一般財源		3,513		3,898	4,372		
人件費（千円）B			942		480	480		
内訳	一般職員（人・千円）		0.14	924	0.07	462	0.07	462
	臨時職員（人・千円）		0.01	18	0.01	18	0.01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	施設の保守点検を行い維持管理を適切に実施する。	③取組の課題	施設の老朽化により修繕箇所が増加しており、維持管理経費が増加している。
②R3年度に実施した取り組み	城山球場及び城山テニスコートの維持管理及び保守点検等を実施し、施設利用者が安全に利用できるよう努めた。	④今後の改善計画	保守点検等による施設の不具合の早期発見を行い、施設改修計画に適宜盛り込む。東員町公共施設等総合管理計画との整合を図る。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	15	
事業名	長深グラウンド経費	会計	款	項	目
政策	6 人生を豊かにするために	一般	10	6	2
施策	6-4 スポーツの振興	課名	社会教育課		
		係名	スポーツ振興係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民・使用者（団体）	目的（対象がどのような状態になっているか）	スポーツを通じたコミュニティ広場としての位置付けを行い、住民等の体力や健康の増進を目指す。
事業内容	住民が利用しやすいよう、利用啓発に努めるとともに、施設管理上、過度な負荷のかからないことを前提に、幅広い競技について使用を呼びかけ運用していきたい。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	体育施設利用者数	3,672			人	
2							
3							
4							
5							
			令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B				1,875	2,652	2,761	
財源内訳	直接事業費A			1,329	2,172	2,281	
	うち一般財源			1,327	2,161	2,261	
人件費（千円）B				546	480	480	
内訳	一般職員（人・千円）	0.08	528	0.07	462	0.07	462
	臨時職員（人・千円）	0.01	18	0.01	18	0.01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	特定の団体と協議を行い、他施設での利用を促す。	③取組の課題	特定の団体との協議。
②R3年度に実施した取り組み	長深グラウンドの維持管理及び保守点検等を実施し、施設利用者が安全に利用できるよう努めた。	④今後の改善計画	特定の団体と協議を行い、他施設での利用を促す。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	16	
事業名	体育施設整備費	会計	款	項	目
		一般	10	6	2
政策	6 人生を豊かにするために	課名	社会教育課		
施策	6-4 スポーツの振興	係名	スポーツ振興係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	体育施設	目的 (対象がどのような状態になっているか)	スポーツ振興の拠点となる施設の整備・充実を図る。
事業内容	多くの施設・設備等が老朽化しており、軽微な修繕では対応が難しいものが多い。各施設の利用状況及び財政等も合わせ改修あるいは統廃合など検討する必要がある。また、効率的かつ計画的に改修工事等を検討する必要がある。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	事業の性質上、指標設定は馴染みません。						
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B			37,387	205,911	49,856			
財源内訳	直接事業費 A		36,511	202,989	46,736			
	うち一般財源		8,010	66,457	12,036			
人件費 (千円) B			876	2,922	3,120			
内訳	一般職員 (人・千円)		0.13	858	0.44	2904	0.47	3102
	臨時職員 (人・千円)		0.01	18	0.01	18	0.01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	長期保全計画等に基づき、適切な施設の維持管理に努める。	③取組の課題	施設の老朽化が進行し、維持管理経費が増加している。
②R3年度に実施した取り組み	総合体育館アリーナ屋根改修工事、総合体育館非常用発電機設置工事、武道館照明LED化改修工事、町民プール解体工事	④今後の改善計画	長期保全計画を適宜見直し、優先順位をつけて改修を行う。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	17	
事業名	文化施設整備費	会計	款	項	目
政策	6 人生を豊かにするために	一般	10	5	1
施策	6-1 生涯学習の推進	課名	社会教育課		
		係名	生涯学習係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	利用者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	文化振興の拠点となる施設の整備・充実を図る
事業内容	施設の老朽化により、軽微な修繕では対応が難しいものが多くあり、利用状況及び財政等も合わせ改修を検討する必要がある。また、効率的かつ計画的に改修工事等を検討する必要がある。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1	事業の性質上、指標設定は馴染みません。							
2									
3									
4									
5									
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			45,826		36,465		46,458		
財源内訳	直接事業費 A		45,562		36,201		45,996		
	うち一般財源		17,562		36,201		11,596		
人件費 (千円) B			264		264		462		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.04	264	0.04	264	0.07	462	
	臨時職員 (人・千円)		0	0		0	0	0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
				コストの削減	A削減の余地はない	
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	長期保全計画等に基づき、計画的に改修を行い、施設利用者が安全安心に利用できるよう適切な施設の維持管理に努める。	③取組の課題	施設の老朽化の状況によって、長期保全計画の見直しを適宜行う必要があるが、改修等内容によっては財源確保が困難となるケースが想定される。
②R3年度に実施した取り組み	総合文化センターに係る非常用発電機更新工事及び空調設備盤改修工事を行った。	④今後の改善計画	施設設備に係る保守点検により、劣化等改修時期を見極め、長期保全計画に基づき計画的に改修工事を行い、施設の適正な維持管理に努める。